

国土交通省では、全国の「地域の足」「観光の足」を確保するための「交通空白」の解消に向けた取組や、地域の多様な関係者の「共創」により、地域交通の利便性・生産性・持続可能性を高める取組、さらには地域公共交通計画の策定・アップデート等を広域的に推し進める人材の育成を後押しするため、新たに国の支援が新設されることから、交通空白解消に向けて本年4月からの代替交通に活用を検討していく。

## 1. 事業概要

令和7年度『交通空白』解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト」は、喫緊の課題として取り組む「交通空白」の解消のほか、地域の多様な関係者が連携・協働した取組など、地域交通の維持・活性化を図る事業を支援するもの。（別紙参照）

⇒本市では当該支援のうち、「交通空白」解消緊急対策事業の活用を進めていく。

## 2. 本市の取り組み事業

### ○事業の基礎情報

事業実施地域	横山・南横山・南池田・南松尾はつが野・北松尾校区の一部
「交通空白」リストに位置づけている地区名等	横山・南横山・南池田・南松尾はつが野・北松尾校区の一部、繁和町
事業の主体	和泉市
新たに導入する交通サービス	和泉市路線維持バス 父鬼ルート、春木川ルート、松尾寺ルート

### ○取組の概要

- ・市の路線維持バス事業として、本市から各運行事業者に依頼し、バス路線の廃止に伴う市民の移動手段を確保する。
- ・令和7年3月に運行事業者において、4月から運行できるようバス停の設置や車両装備の準備を行う。市民への周知については、3月初旬に市のホームページに掲載し、また、リーフレットを作成し、該当地域に対して周知を行う。
- ・「和泉市公共交通利用活性化プロジェクト委員会」において、バス路線の廃線による交通空白地の解消に向けた代替交通の審議（令和6年8月9日(第2回)、同年11月27日(第3回)）を経て承認された運行計画について、本委員会（3月28日）にて運行概要を最終報告のうえ、4月から運行する。

## 3. 採択時期

- ・「交通空白」解消緊急対策事業：4月中（予定）